



広島県尾道市の「空き家等対策の取り組み」について  
尾道市は、斜面地の古い町並みを守り定住促進による地域の活性化を図るため斜面地を対象とした「尾道市空き家バンク」運営をNPO法人尾道空き家再生プロジェクトに委託することで、土日や夜間の

総務文教委員会

行政視察報告

委員会の活動報告



対応が可能となり利用者へのサービス向上に繋がっています。  
空き家改修は「空き家再生促進事業補助金」の他にも、新しい活用方法の提案を公募し優れた提案に対して費用の一部を補助する制度や特定空き家等及び不良空き家に対する除却補助制度にも取り組まれています。



広島県尾道市の「空き家等対策の取り組み」について

尾道市は、平成23年度に「尾道市危険建物除却促進事業」を開始、これまでに655件を解体されました。28年度は「空き家財道具等処分支援事業」「空き家解体ローン利子補給事業」「移住希望者住宅取得支援事業」「新婚・子育て世帯定住支援事業」など、29年度は、借主がDIYリフォームする場合は、借主がDIYリフォーム補助事業も開始されています。



2市ともに少子高齢化、人口減少で空き家が増加しつつあるため、空き家の予防、空き家等の活用促進のための事業を展開されています。  
多久市においても空き家等の問題は大きな課題であり、今回視察した2市の取り組みを参考に空き家の予防、空き家等の利活用の促進の取り組みが必要であることを確認しました。



⑥南多久町駄道の地すべりによる農道被害

議会での取り組み



議会報告会

令和元年11月に6会場で開催しました議会報告会へ約100名のみなさんの参加がありました。たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。  
いただいたご意見は、今後の議会活動に反映させていきます。



議会出前授業

令和2年1月に、子どもたちに地方自治について理解を深め、議会の活動を身近に感じてもらうために、社会科で政治を学ぶ授業に合わせて、市内3校の6年生(162名)を対象に学校に出向き、「市議会の仕組みと役割について」をテーマに議員が先生役になり授業を行いました。



子ども議会

議会に関心を持ってもらうために、平成30年度に初めて開催した「子ども議会」を令和元年度も市内3校の6年生に議員になりきってもらい多久市本会議場で開きます。